

実務経験のある教員による授業科目一覧(スポーツトレーナー科)

授業科目	授業の方法	単位時間	実務経験のある教員の経歴	実務経験	提出
ウェイトトレーニング演習Ⅰ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニング方法を指導する。	○	△
ウェイトトレーニング演習Ⅱ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニング方法を指導する。	○	
エアロビックダンス演習	演習	60	日本フィットネス協会（JAFA）のGFI（ADI）資格を有し、現役のエアロビクスインストラクターとしての経験を活かし、エアロビクスの知識や技術を指導する。	○	
コンディショニング論・演習Ⅰ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、コンディショニングの意義や効果、手法について指導する	○	
コンディショニング論・演習Ⅱ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、コンディショニングの意義や効果、手法について指導する	○	
ジョギング・ウォーキング演習	演習	30	プロアスリートとして活躍し、オリンピックに出場した経験をもとに、健康運動実践指導者試験合格のための方法を指導する。	○	
スポーツ医学Ⅰ	講義	30	救急救命士の資格を有し、また医療機関に従事した経験を活かし、スポーツ障害を医学的見地から解説し、予防や対策、救急処置法を指導する	○	
スポーツ医学Ⅱ	講義	30	救急救命士の資格を有し、また医療機関に従事した経験を活かし、スポーツ障害を医学的見地から解説し、予防や対策、救急処置法を指導する	○	
スポーツ外傷障害の基礎知識	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、スポーツに伴う障害、外傷について指導する。	○	△
スポーツ指導論	講義	30	永年高校の保健体育教員そして野球部指導者を務め、東京都高野連理事長を務めた経験を活かし、スポーツ指導の理論と方法を指導する。	○	
スポーツ社会学	講義	30	羽村市社会体育主事、堀松スポーツ行政研究所の所長として従事した経験を活かし、スポーツと社会のかかわりについて指導する。	○	
スポーツ心理学Ⅰ	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、スポーツとメンタルの関連性について指導する。	○	
スポーツ心理学Ⅱ	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、スポーツとメンタルの関連性について指導する。	○	
テーピング論・演習Ⅰ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、シドニーオリンピックで全日本カヌーチームのトレーナーとして帯同した。現役トレーナーとしての経験を活かし、テーピングの効果や手法を指導する。	○	
テーピング論・演習Ⅱ	演習	60	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、シドニーオリンピックで全日本カヌーチームのトレーナーとして帯同した。現役トレーナーとしての経験を活かし、テーピングの効果や手法を指導する。	○	
トレーニング科学	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、シドニーオリンピックで全日本カヌーチームのトレーナーとして帯同した。現役トレーナーとしての経験を活かし、科学的見地から指導する。	○	

トレーニング理論と実際	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、トレーニング理論や実際の運動処方を指導する。	<input type="radio"/>	△
バイオメカニクス	講義	30	日本体育学会、日本バイオメカニクス学会等に所属し、数多くの大学でラグビー部の指導、そして学術的指導の実績を活かし、専門分野であるバイオメカニクスの基礎知識を指導する。	<input type="radio"/>	△
リハビリテーション論	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、リハビリテーションの意義や方法を指導する。	<input type="radio"/>	
救急処置法	講義	30	救急救命士の資格を有し、また医療機関に従事した経験を活かし、救急処置の重要性や具体的方法を指導する	<input type="radio"/>	△
健康科学概論	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、健康科学について指導する。	<input type="radio"/>	
情報処理演習	演習	60	工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーやNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータの基本操作を指導する。	<input type="radio"/>	
生理学	講義	30	東京都神経科学研究所研究員や早稲田大学生物学教室での勤務・研究経験を活かし、生理学の基礎知識を指導する。	<input type="radio"/>	
運動生理学	講義	30	東京都神経科学研究所研究員や早稲田大学生物学教室での勤務・研究経験を活かし、運動と生理学の結びつきについて指導する。	<input type="radio"/>	
体力測定と評価	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、測定結果による運動処方を指導する。	<input type="radio"/>	
地域におけるスポーツ行政	講義	30	羽村市社会体育主事、堀松スポーツ行政研究所の所長として従事した経験を活かし、スポーツと行政のかかわりについて指導する。	<input type="radio"/>	△
発育発達・老化論	講義	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、発育や老化の仕組みについて指導する。	<input type="radio"/>	
スポーツ栄養学Ⅰ	講義	30	栄養士の資格を持ち、現役の料理家として従事している経験を活かし、スポーツと栄養との関わりや効果的な栄養摂取の方法を指導する。	<input type="radio"/>	△
スポーツ栄養学Ⅱ	講義	30	栄養士の資格を持ち、現役の料理家として従事している経験を活かし、スポーツと栄養との関わりや効果的な栄養摂取の方法を指導する。	<input type="radio"/>	

実務経験教員担当時間

1110 時間

実務経験のある教員による授業科目一覧(健康スポーツ科)

授業科目	授業の方法	単位時間	実務経験のある教員の経歴	実務経験	提出
ウェイトトレーニング演習Ⅰ	演習	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニングの方法を指導する。	○	
ウェイトトレーニング演習Ⅱ	演習	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニングの方法を指導する。	○	
ウェイトトレーニング演習Ⅲ	演習	30	ルネサンススポーツクラブで現役のインストラクター、またパーソナルトレーナーとしての実務経験を活かし、その理論や手法を指導する。	○	△
ウェイトトレーニング演習Ⅳ	演習	30	ルネサンススポーツクラブで現役のインストラクター、またパーソナルトレーナーとしての実務経験を活かし、その理論や手法を指導する。	○	
エアロビックダンス演習Ⅰ	演習	30	日本フィットネス協会 (JAFA) のGFI (ADI)資格を有し、三菱養和スポーツクラブ等でのエアロビクスインストラクターとしての経験を活かし、エアロビクスの知識や技術を指導する。	○	△
エアロビックダンス演習Ⅱ	演習	30	日本フィットネス協会 (JAFA) のGFI (ADI)資格を有し、三菱養和スポーツクラブ等でのエアロビクスインストラクターとしての経験を活かし、エアロビクスの知識や技術を指導する。	○	
ジョギング・ウォーキング演習Ⅰ	演習	30	プロアスリートとして活躍し、オリンピックに出場した経験をもとに、健康運動実践指導者試験合格のための方法を指導する。	○	△
ジョギング・ウォーキング演習Ⅱ	演習	30	プロアスリートとして活躍し、オリンピックに出場した経験をもとに、健康運動実践指導者試験合格のための方法を指導する。	○	
スポーツセラピーⅠ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、またスポーツ科目の指導経験を活かし、コンディショニングの重要性や具体的な手法について指導する。	○	
スポーツセラピーⅡ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、またスポーツ科目の指導経験を活かし、コンディショニングの重要性や具体的な手法について指導する。	○	
スポーツビジネス概論Ⅰ	講義	30	学園の経営者で、かつスポーツマーケティング評論に従事した経験を活かし、スポーツビジネスの現状や展望について指導する。	○	△
スポーツビジネス概論Ⅱ	講義	30	学園の経営者で、かつスポーツマーケティング評論に従事した経験を活かし、スポーツビジネスの現状や展望について指導する。	○	
スポーツ医学Ⅰ	講義	30	柔道整復師の資格を持ち、現在も接骨院での勤務の傍ら、その技術や知識を活かし、医学的見地からスポーツとのかかわりについて指導する。	○	
スポーツ医学Ⅱ	講義	30	柔道整復師の資格を持ち、現在も接骨院での勤務の傍ら、その技術や知識を活かし、医学的見地からスポーツとのかかわりについて指導する。	○	
スポーツ栄養学Ⅰ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、また永年のスポーツ科目の指導経験を活かし、スポーツと栄養・生活との関わりについて指導する。	○	
スポーツ栄養学Ⅱ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、また永年のスポーツ科目の指導経験を活かし、スポーツと栄養・生活との関わりについて指導する。	○	
スポーツ指導論Ⅰ	講義	30	永年高等学校保健体育科教員として生徒指導、また野球部指導の経験を活かしスポーツ指導の理論と方法を指導する。	○	△
スポーツ指導論Ⅱ	講義	30	永年高等学校保健体育科教員として生徒指導、また野球部指導の経験を活かしスポーツ指導の理論と方法を指導する。	○	
スポーツ心理学Ⅰ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、また永年のスポーツ科目の指導経験を活かし、スポーツとメンタルとの関わりについて指導する。	○	
スポーツ心理学Ⅱ	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレーボールで最多優勝や実業団選手を輩出し、また永年のスポーツ科目の指導経験を活かし、スポーツとメンタルとの関わりについて指導する。	○	

テーピング論・演習 I	演習	30	日本スポーツ協会AT資格を持ち、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、理論や手法を指導する。	○	
テーピング論・演習 II	演習	30	日本スポーツ協会AT資格を持ち、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、理論や手法を指導する。	○	
トレーニング理論と実際 I	講義	30	日本スポーツ協会AT資格を持ち、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、トレーニングの理論や実際の方法について指導する。	○	
トレーニング理論と実際 II	講義	30	日本スポーツ協会AT資格を持ち、起業し、現役のアスレティックトレーナーとして活動している経験を活かし、トレーニングの理論や実際の方法について指導する。	○	
バイオメカニクス I	講義	30	日本体育学会、日本バイオメカニクス学会等に所属し、数多くの大学でラグビー部の指導、そして学術的指導の実績を活かし、専門分野であるバイオメカニクスの基礎知識を指導する。	○	
バイオメカニクス II	講義	30	日本体育学会、日本バイオメカニクス学会等に所属し、数多くの大学でラグビー部の指導、そして学術的指導の実績を活かし、専門分野であるバイオメカニクスの基礎知識を指導する。	○	
運動生理学 I	講義	30	永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、運動生理について指導する。	○	
運動生理学 II	講義	30	永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、運動生理について指導する。	○	
救急処置法 I	講義	30	永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、一次救命処置の重要性やその方法について指導する。	○	
救急処置法 II	講義	30	永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、一次救命処置の重要性やその方法について指導する。	○	
情報処理演習 I	講義	30	工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータの基本操作を指導する。	○	
情報処理演習 II	講義	30	工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータの基本操作を指導する。	○	
発育発達・老化論 I	講義	30	永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、身体の発育発達老化の特徴について指導する。	○	△
発育発達・老化論 II	講義	30	永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、身体の発育発達老化の特徴について指導する。	○	

実務経験教員担当時間

1020 時間

実務経験のある教員による授業科目一覧(健康コミュニケーション科)

授業科目	授業の方法	単位時間	実務経験のある教員の経歴	実務経験	提出
ウェイトトレーニング演習Ⅰ	演習	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニングの方法を指導する。	○	
ウェイトトレーニング演習Ⅱ	演習	30	日ス協アスレティックトレーナー資格を有し、実業団ラグビー部ヘッドトレーナー、パークハイアット東京ジムインストラクター他の勤務経験を活かし、ウェイトトレーニングの方法を指導する。	○	
コミュニケーション論Ⅰ	講義	30	幼少年体育協会講習等での接客・営業経験を活かし、コミュニケーションの重要性や事例研究を通じてその方法を指導する。	○	△
コミュニケーション論Ⅱ	講義	30	幼少年体育協会講習等での接客・営業経験を活かし、コミュニケーションの重要性や事例研究を通じてその方法を指導する。	○	
スポーツ医学	講義	30	永年高校の保健体育教員を務める傍ら、野球の指導者として従事した経験を活かし、スポーツと医学のかかわりについて指導する。	○	△
スポーツ栄養学	講義	30	スポーツ専門学校教員としてバレー、ボルダリングで最多優勝や実業団選手を輩出し、また永年のスポーツ科目の指導経験を活かし、スポーツと栄養・生活との関わりについて指導する。	○	
スポーツ指導論	講義	30	永年高校の保健体育教員としてバスケットボール指導者として従事した経験を活かし、スポーツ指導の理論と方法を指導する。	○	
ライフプロモーション論Ⅰ	講義	30	公益財団法人日本幼少年体育協会において、幼児体育指導者検定、幼児体育健康教育講習会の指導及び運営統括などの経験を活かし、生涯スポーツの設計について指導する。	○	△
ライフプロモーション論Ⅱ	講義	30	公益財団法人日本幼少年体育協会において、幼児体育指導者検定、幼児体育健康教育講習会の指導及び運営統括などの経験を活かし、生涯スポーツの設計について指導する。	○	
救急処置法	講義	30	永年高校の保健体育教員としてバスケットボール指導者として従事した経験を活かし、救急処置の方法やや概念について指導する。	○	△
高齢者運動指導演習	演習	60	パーソナルトレーナー会社代表取締役であり、また日本高齢者運動機能向上研究会理事等の経験を活かし、高齢者の運動指導方法について指導する。	○	△
ビジネス自己開発論Ⅰ	講義	30	幼少年体育協会での接客・営業経験を活かし、キャリアデザイン能力を高めるための指導を行う。	○	
ビジネス自己開発論Ⅱ	講義	30	幼少年体育協会での接客・営業経験を活かし、キャリアデザイン能力を高めるための指導を行う。	○	

障がい者運動指導演習	演習	60	元財団法人日本障がい者スポーツ協会部長、長野オリンピックアイススレッジホッケー日本代表監督という経験を活かし、障がい者に対するスポーツ指導の方法について指導する。	<input type="radio"/>	
情報処理演習	演習	30	工学博士の学歴を有し、大手電気メーカーやNTT電気通信研究所等での技術職勤務経験を活かし、コンピュータの基本操作を指導する。	<input type="radio"/>	△
発育発達・老化論	講義	30	永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、身体の発育発達老化の特徴について指導する。	<input type="radio"/>	

実務経験教員担当時間 540 時間

実務経験のある教員による授業科目一覧(ウェルネスIT科)

授業科目	授業の方法	単位時間	実務経験のある教員の経歴	実務経験	提出
スポーツ指導論	講義	60	永年高校の保健体育教員そしてバスケット指導者として従事した経験を活かし、スポーツ現場での指導方法について指導する。	○	△
ウェイトトレーニング演習Ⅰ	演習	60	日本語学校とスポーツクラブでインストラクターとして実務経験のある教員が留学生に対しウェイトトレーニングについての指導を実施する。	○	△
ウェイトトレーニング演習Ⅱ	演習	60	日本語学校とスポーツクラブでインストラクターとして実務経験のある教員が留学生に対しウェイトトレーニングについての指導を実施する。	○	△

実務経験教員担当時間 180 時間